

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	新幹線・まちづくり課
会議名 (審議会等名)	令和4年度 第1回嬉野市都市計画審議会	
開催日時	令和5年3月20日(月) 14:00~15:50	
開催場所	嬉野市中央体育館 会議室	
傍聴の可否	(可) ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 なし
公開不可・一部不可の場合はその理由		
出席及び欠席委員並びに職員	出席者氏名 ()は役職	中島委員(会長)、荒木委員(副会長)、富永委員、北川委員、副島委員、山口委員、諸岡委員、坂井委員、森田委員、大串委員
	欠席者氏名	山川委員、宇曾谷委員
	事務局氏名	早瀬(副市長)、井上(建設部長)、松尾(新幹線・まちづくり課長)、古川(同副課長)、橋爪(同主査)、岩本(日本工営都市空間株式会社)
会議の議題	嬉野温泉・嬉野温泉駅周辺地区都市再生整備計画・嬉野市社会資本総合整備計画 事後評価 1. 事後評価制度の概要等 2. 事後評価手続き・今後のまちづくりに係る審議 3. 事後評価委員会後のスケジュール	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事後評価概要説明資料 ・ 都市再生整備計画、社会資本総合整備計画 ・ 事後評価シート案 ・ 嬉野市の都市計画 	
審議の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

・委嘱状の交付

委員を代表して中島委員に副市長より委嘱状を交付された。

・議事録署名人の指名

議事録署名人は、森田 明彦氏、北川 泰則氏が指名された。

・会長、副会長の選出結果

会長は、中島 浩二氏、副会長は荒木 司氏が選出された。

質疑応答（概要）

1. 事後評価制度の概要等

発言者	発言内容等
委員	都市再生整備計画と立地適正化計画について、いずれも駅から市街地周辺を範囲とした計画となっているが違いを教えてください。
事務局	立地適正化計画はコンパクトシティを推進するために必要となる誘導区域や誘導施策を記載した計画で、都市計画区域を対象に策定する。 都市再生整備計画は立地適正化計画で設定した都市機能誘導区域に都市機能や公共施設、病院などを立地誘導するための都市基盤整備等を行う事業計画である。 なお、都市計画区域は旧嬉野町に指定されており、都市基盤整備等に係る国の支援を受けやすいが、建築確認申請が必要になるなどの制限がある。このため、将来市民の皆様から要望が出る場合には、都市計画区域の拡大を考えていきたい。
委員	都市再生整備計画区域外の用途無指定の土地で民間の商業施設開発がされているが、駅周辺での土地利用を鑑みた誘導など、都市計画での制限はなされないのか。
事務局	ある一定の土地以上については民間開発にゆだねる方針としているが、虫食い状態で開発がされることについては危惧をしている。

2. 事後評価手続き・今後のまちづくりに係る審議

発言者	発言内容等
委員	改善する事項に、「嬉野温泉駅と温泉街の移動や回遊性向上」とあるが、宿泊施設は本通りには少なく、塩田川対岸に多い印象がある。今後、回遊性を高める区域をどのように考えているか。
事務局	本来は広く範囲を設定すべきだが、実際の範囲は今後の検討課題としている。
委員	想定される事業に、「安心して歩ける歩行者空間確保のための調査研究の継続」とあるが、社会実験で反対意見が出てきたが、今後どのように考えるか。
事務局	本通りの路面はひどく傷んでおり、今の両側通行をいかしつつ、歩行者が安全に通行できる形で改修計画を作成、測量等を終えたところである。 今後、地元の説明を行い、ご理解をいただける場合は改修に向けて進めていきたいと考えている。
委員	社会実験の結果、本通りについては一方通行は行わないという意見が多かったが、将来の温泉街を考えると現在の交通処理の姿はないと思う。

事務局	<p>地区内で自動車がゆとりを持って交互通行できるのは国道と本通りのみで、そのほかの道路は離合等が難しいため、本通りの一方通行化は条件が厳しいという意見を伺っている。このため、今回の改修計画では現状の交互通行で進めさせていただきたいと考えている。</p>
委員	<p>本通りについては、社会実験の段階で、一方通行ありきではなくて、いろいろなことを含めた話し合いができればよかったと感じる。</p> <p>また、観光地としてみると、電線類が目立っており、今後解決していったほうがよいと考える。</p>
事務局	<p>地中化については、歩道部に地上機器を設置するため歩行空間が部分的に狭まるほか、費用面で大きな課題がある。</p> <p>また、景観面については、電線類がないことへの開放感、一方で少し古い感じを醸し出す昭和感がよいなど、考えに違いがあるので、現在はこのままとしたい。</p>
委員	<p>宿泊客は新幹線開業後に増加し、嬉野温泉駅を利用する宿泊客も多い。</p> <p>チェックアウト前後に商店街の散策をしたいが、駅まで距離があるため自動車での直接送迎を希望する利用者も多い。</p> <p>このため、自動運転の検討の際は、ルート設定を考慮いただけるとよい。</p>
委員	<p>嬉野温泉駅前の広場にタクシーやバスが少ないと感じる。</p>
事務局	<p>将来、自動運転が導入される場合は効果的なルートを検討していきたい。</p> <p>また、直近の対応として、嬉野温泉駅を利用する観光客向けに、4月1日から駅前のまるくアイズで荷物を預け、そのまま旅館に運んでもらう手ぶら観光のサービスを始める。あわせて、シェアサイクルを駅前とバスセンターで運用しており、4月以降に貸し出し・返却ができるポートの場所を増やしていきたい。</p> <p>なお、嬉野温泉駅とバスセンターの間は、1時間に上下6本運行がされている。タクシーは人手不足と聞いており、遠方の利用者が多い医療センターで待機していることが多いと聞く。</p>
委員	<p>手ぶら観光やシェアサイクルについて、告知はどのように行うのか。</p>
事務局	<p>両サービスを1枚で紹介するチラシを作成する予定である。</p>
委員	<p>駅前駐車場でカーシェアリングも利用できるようになったが、実際に利用している人はいるか。</p>
事務局	<p>新幹線利用のビジネス客が多く利用していると聞いている。</p>

3. 事後評価委員会後のスケジュール

意見なし

以上